

本日は貴重な貴重な講演をありがとうございました。

私は診療所で10年以上助手として来ました。整形外科でか
療とたにかっておられる患者さん。又、ご家族が闘病中、という患者さん
たくさんいらっしゃいます。実習中も「ここ(病院)で死ぬのん待ってる
だけ。」とおっしゃる患者さんにも出会いました。会話の中で、いつか何も
言えず、黙ってしまう自分がいました。

そして、私の母は膵臓がんで自宅で亡くなりましたが、しょっちゅう
「死んだ方がマシ。」とっていました。認知症の伯母は「そのうち何も
わからへんようにする。」と悲しそうにっていました。私は「わかってくれる人」に
なれたらいいな。母は旅立ち、伯母は認知症が進み、気持ちを語る
ことはなくなりました。

この学校で、何かの答えが欲しくて、わかるように倫理の授業を受けたり
教科書を読みました。倫理という学問に触れることはできましたがなかなか
具体的な答えに辿り着けず、苦しいと感じたこともありました。今日、
「そうやったんや...。」となぜか、自分を「わかってもらえた」気持ちにも
なり、これからの自分が、どうしていくとよいか、今までは何か足りていな
かったのか、また「わかってくれる人」がどんな人なのか、それをわかって
いかなかった、ということも学ぶことができました。相対から見ても「わかって
くれる人」、心の氷が溶けたような思いです。ありがとうございました。

昨年、夕方のコースで医療法人綾正会 かわべクリニック
さんが行われている自宅での療養（緩和ケア）を取り
上げの放送を観させて頂いていました。今回、実際
にお会いできたと講演を聞けたこと、とても
嬉しく感じています。患者さんにとって理解者になる
事、ロールプレイを行って、自身の苦痛を理解してくれる
人を必要としている心境を感じる事ができました。実際
実習で「死」を訴えられる患者さんにお会いすることは
ありませんでしたが「回復」と「沈黙」の大切な技術
を学ぶことができたことで今後、出会う患者さん
の理解者になれるのが...と言った不安が少し減
りました。私は卒業後、理学をします。また実習
がありまのでこの技術を鍛えていこうとも考え
ました。そして、私自身、昨年亡くなった父の入院
での状況から緩和ケアに興味を持つようになりました。
将来は、緩和ケア病棟がある病院で勤務し
たいと考えています。最後に川邊医師が話されていた
「明日、会えなくても知れたいから、今から援助を行う
の言葉を忘れず、ゆえに看護をしっかり学んでいこう。」

今日お話を聴かせて頂いた中で、苦しんでいる人とどう接したら良いのか、相手どうコミュニケーションをとったら気持ちが軽くなるのかを、具体的に学ぶことが出来ました。実際にピアになって、相手の言葉を反復する体験を通し、患者側としては自分の気持ちをありのまま否定せず受け入れてくれている、という安心感がうまれました。看護師として聴く際には、自分の主観や思い込みを持たずに相手の事を理解していく事が大切なのだと気付くことが出来ました。

また、私自身、自分の実習では患者様という際はあまり間をつくらないように積極的に話しかけてしまっていたのですが、今日のお話を聴かせて頂き、沈黙は、大切なことを話すとき、エネルギーと心を整理していくための必要なものなのだとして理解することが出来ました。今後は、沈黙を恐れず「待つ力」を持てるよう努力していきたいと思います。

「人は、自分の苦しみを分かっている人というと嬉しい」というキーワードをはじめ聞いた時は、ピンとこなかったのですが、講演会を通し、深く理解することが出来ました。相手の苦しみに気がつくか、相手の苦しみを表出してもらえら関係性を築くこと、また話して頂けるようなコミュニケーションがとれるようになることが、苦しむ人への支援に大切なことだと学ぶことが出来ました。

今後、看護師として働いていく中で、一人一人の患者様の心に寄り添える、苦しみを少しでも軽くすることが出来るよう、努力していきたいと思います。

今日は貴重なお話をありがとうございました。

講演会を聞いて実習で患者さんとの関わりについてこの時のことを

思い出し、沈黙の大切さやコミュニケーションをとる時の

姿勢や表情は「はい一言、行動の一例としてのメッセージ」

というように感じることができました。

終末期にあたる患者さんとの関わりの際、親の言葉が「お父さん

が「何事も逃げ出したい気持ちにたまたまこのことがありましたので」

講演会を聞いて逃げ出す患者さんと同じような気持ちで

（おとれるように感じられるように感じました。

人の気持ちを理解することはとても難しいことだと思っていますが

反復、沈黙を活用し、患者さんにとりて良き理解者という

存在になれるよう努力していきたいと思っています。

患者の本当の気持ちが表出できるように環境作りや関わりが

とても大切なことだと学ぶことができました。

自分の考えや気持ちを押しつけてはいけません。患者さんの受け止め

逃げ出すにしっかりと向き合い患者さんの気持ちを（おとれるように

看護師になれるよう努力していきたいと思っています。

お忙しい中講演会を開いていただきありがとうございます。

今日の講演会をきいて苦しんでいる人は自分の苦しみをわかってくれる人がいるとうれしいと何度もあらしめられていました。本当にその通りだなと思いました。私も実習や終わりの見えのない課題、勉強がありとてもしんどかった時期がありました。その時に母や祖母に相談しましたが返ってきた返事は「しんどいのはみんな一緒」でした。その返事をきいて、何も相談したくなりませんでした。患者さんでも自分の苦しみを理解してくれない人にはきっと同じような感情を抱くのではないかと感じました。ロールプレイで反復の練習と沈黙の練習をしましたが、反復してくれることで「この人は私の話をしっかりきいてくれているんだ」と感じました。資料にもわかりましたが人は大切なことを話すときにはエネルギーを必要とするので、時間が必要とありますが、悩みなどを打ち明けるとき時間が必要でした。沈黙があると何か話さなくてはいいまいと思ってしまうですが、講演会をきいて無理に会話を引き出す時間ではなく、相手の言葉が出るのを待つ時間と思えば大丈夫、時間ではないと思いました。

コミュニケーションの取り方がとても勉強になりました。就職

して働いている苦しみを抱えた患者さんと出会うと思います。その際は今日、講演会で学んだことを参考にしてお話を聞きたいと思っています。

本日はとても良いお話が聞けました。私も実習
期間中に、患者さんに「死にたいわ」と言われた事か
あり。「そんな事言わないでください。」と答えました。
今考えれば、も、と話した事もあるのかも（水戸い）と
思い返しました。

老健施設やケアアでも実習させて頂き、多くの利用者
さんとコミュニケーションをとる機会がありました。「こんな
身体になら、何の為に生きていくやう」と話される方
も多かったです。「誰かの支えにならうとすると、一查
支えを必要としています。」と、最後に書かれていたように、
家族を支え、生きてきた方ほど、支えを必要としているのかも
（水戸い）と思いました。長年家族を支えてきた高齢者も
そうであられ、講義中にお話にあたり、47才の2児の母の
話から、現在、同じ年代で高校受身金を探る息子と
抱える自分自身と重なり、家族を支え続けようとする
母親の姿が目に見えて、胸が苦しくなりました。
そのような方々の気持ちに寄り添い、苦しみを
打ち明けたいだけのように関わられるようにしたいです。
緩和ケアにも大変興味を持ちました。ありがとうございました。

今日の講義を聞き、詳しく死を覚える患者さんの

苦しみについて少しわかることができたと思っていました。

それは援助的ユニバーサル基本を話して下って

苦しんでいる人は自分の苦しみをわけてくれる人がいるとうまい

と聞き、その中で2人で10分以内にロールプレイを行う

反復で患者役に扮するとき自分の言葉を反復させて

いことで安心感を持ち、痛みを打ち明けれるという雰囲気

にすることがわかりました。また相手に対する思い込みは

対象者が何を求めているのかを知ることができ、恐れを

与える援助の幅が狭ばされていくことに気づかす

と改めて感じました。

先生が最後に話して下って、その時、その時を

解決し、これが最後と常に思い、患者さんと

関わっていくことが大切と話された言葉を聞き

命に関わる仕事への責任を強く感じました。

今日は今朝とは違う緩和ケアについてより

詳しくお話を聞くことができた看護について

学びを深めることができてました。

貴重な講演を聴かせて頂き有難うございました。今日の講演会を聴き、私が実習中に患者さんの関わりの中でとどった時の事も振りかえる事が出来ました。実習中に肺がんで終末期の男性A氏とのコミュニケーションの中で、「沈黙」に対して焦り、何か言葉を探している自分に気が付きました。講演を聴き、患者さんとの関わりのひときは、一期一会である事を忘れず、患者さんが話したい、伝えたいという気持ちになって頂ける為に反復と沈黙を意識して行いたいと思います。又、学生同士のロールプレイでは、意外に自分の言葉や感情(先走った言葉)をはずまが、相手の言葉を大切に聞き取る事の難しさを実感する時にもなりました。

歌の中の「時計を見るべき」についても「業務をしっかりと行う気持ちと「患者さんに真摯に向き合う姿勢」の難しさを想像しました。今を全力で向き合えば、そして最後に「誰かの支えになろうとする人」にも支えになる仲間、先生がやる事を忘れずに、自分自身も同じ志を持つ医療者を支える心ある准看護師でありたいと思います。

卒業間近のこの時に、苦しみを持つ患者さんの為に少しでも患者さんが安心できる看護の姿勢について教えて頂けた事、感謝しかありません。一歩づつ実践し、立ち止まった時には振り返りたいと思います。ありがとうございました。

今回の講演を聞かせていただき、聴くことの大切さが明確になりました。看護の道を目指し「傾聴」という言葉を何度も聞きましたが、それがなぜ大切なのか、それは相手に「この人なら聞いてくれるかもしれない」と思ってもらうことだとわかりました。人がどう考えているかは、本人にしかわからず、他人がわかることはないと思います。しかし、理解してもらいたいと考える人は多いと思います。その第1歩が相手に思いを打ち明けるといふことであり、反復と沈黙は、コミュニケーションを意味あるものにする方法だと感じました。

ロールプレイングは、初めはぎこちないと感じましたが、反復も沈黙も意味あるものだと考えると自然に思いました。

今後、准看護師として、患者さんとその家族との関わりに反復と沈黙を意識していきたいです。

自分の仕事に手一杯にならず、患者さん、家族さんの思いを大切にできるようにしようと思います。

コミュニケーションを取るにあたり、冷静に考えを進める為にとても役に立つ講演を受けさせていただきました。

「理解するよりも理解者になること」を忘れないようにします。

ありがとうございました。

今日の講演会を聴かせていただき、今まで自分が不安だった
こと悩んでいたことの解決に気づきました。

実習で60代の上肢骨折された患者様とコミュニケーションを
とらせていただいたことがありました。私が学生ということも
あり習っているダンスなどの話をしてくださりました。私は
お話を聴くことしかできずあいづちを打つことで精一杯でしたが
患者様が今後ダンスを続けることができるのか不安だと気持ち
を表出してくださりました。後から「話を聴くことしかできずすいません、
という、「聞いてくれるだけでいいのよ」とおっしゃってくださいましたか
と早くコミュニケーションがとれなかったと自分では今まで考え
ていました。しかし今日の講演会を聴きあの時のあいづちや
沈黙はまあいいではなかったのではいいかと思うことができました。
私たちは100%患者様の気持ちを理解することはできませんが
聴いてくれる私にはいられるということを理解することができました。
そして患者様の訴えに対しての考え方も大きく変わりました。
今まではどう返してよいかわからなかったことも反復することで
安心して自分の気持ちを話すことができることを理解できました。
患者様にとって「わかってくれる人、理解してくれる人」になれる
准看護師を目指したいと思えます。

苦しんでいる人に必要なのは、具体策や指導、アドバイスよりも、苦しみをわかってくれる人だということに気がさせられました。つい、解決しようと言葉をかけたとしても、その言葉が決めつけや自分の価値観、さらには誘導につながる可能性がある事を学びました。「反復」を会話の中でうまく使い、相手の伝えたい言葉をキーワードを手がかりとして見つける事により、その人の本当の気持ちを知り、寄り添う事ができる事を学びました。また、私は、人との会話の中で、沈黙を避けてしまう所があり、空気を変えようと、話を変えてみたりする所がありました。でも、沈黙も、相手からの一つのメッセージであり、沈黙の後に本当の気持ちを話す事もあるのだと学びました。確かに、私にも、言うか言わないか迷って、タイミングがなく言えなかったという経験があります。長く感じ、苦手に思う沈黙でも、本心を伝えようとしている相手からすると短い時間なのかなと感じます。沈黙の間の相手の表情もしっかり観察し、相手からの本当のメッセージを見逃さないようにしたいと思います。

今回、死を迎えている人、苦しんでいる人に対して、自分が何を
できるかについてとても興味深いテーマだった。実際、その立場に直面した
時にはどんなことができるのか、どんな言葉をかけてあげればいいのか分からな
かったけれど、「苦しんでいる人は自分の苦しみが分かってくれる人がいる
とうれしい」という基本を元に「ロールプレイング」で、反復、沈黙を行
ってあげた。お前は正直、お前を返すことが理解につながること
か反信反疑だった。会話としても成り立つのが不安だったが、
いざ、自分が患者役としてやってみると、否定せず受け入れてくれ
ている安心感を実感することができた。こういった安心感や
聞いてくれる相手の姿勢が理解や信頼関係につながって
いくんだなあと感じた。今まで、何か話さないといけない、
ホスピタリティなことを言わなくちゃという気持ちがあるとこそが
あったが、そんな必要は全くなく、沈黙も相手の気
持ちを話すタイミングをはかるためにも大切であることが
よく分かった。今回教わった内容を踏まえて、今後
現場で実践し、相手の気持ちに気づき、理解できる
よう、心がけていきたいと思う。